

平成25年度 岩倉市全体の財務書類 4表 (概要版)

○貸借対照表 (平成26年 3月31日現在)

(単位: 百万円)

資産の部		負債の部	
1. 公共資産	100,022	1. 固定負債	22,746
(1)有形固定資産	99,442	(1)地方債	17,473
(2)無形固定資産	0	(2)長期未払金	566
(3)売却可能資産	580	(3)引当金	4,707
2. 投資等	1,984	2. 流動負債	2,252
(1)投資及び出資金	4	(1)翌年度償還予定額	1,568
(2)基金等	1,216	(2)未払金	185
(3)長期延滞債権	944	(3)翌年度支払予定退職手当	327
(4)回収不能見込額	△ 180	(4)賞与引当金	150
3. 流動資産	3,626	(5)その他	22
(1)資金	3,034	<b>負債合計</b>	<b>24,998</b>
(内歳計現金 1,484)		<b>純資産</b>	<b>80,638</b>
(2)未収金	289		
(3)その他	303		
(4)回収不能見込額	0		
4. 繰延勘定	4		
<b>資産合計</b>	<b>105,636</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>105,636</b>

き 将来世代に引き継ぐ社会に引  
本  
出資・基金  
等  
の  
資  
産  
一  
年  
以  
上  
の  
資  
産  
一  
年  
以  
下  
の  
資  
産

担 持  
す 来  
べ 返  
き 済  
債 ・  
務 負  
  
一  
年  
以  
内  
に  
返  
す  
べ  
き  
債  
務  
  
が  
今  
負  
担  
し  
て  
い  
る  
世  
代

○行政コスト計算書

(平成25年 4月1日～平成26年 3月31日)

(単位: 百万円)

<b>経常行政コスト(a)</b>	<b>18,519</b>
1. 人にかかるコスト	1,897
(1)人件費	2,475
(2)退職手当等引当金繰入等	△ 728
(3)賞与引当金繰入額	150
2. 物にかかるコスト	4,124
(1)物件費	2,297
(2)維持補修費	269
(3)減価償却費	1,558
3. 移転支的コスト	11,916
(1)社会保障給付	8,118
(2)補助金等	2,738
(3)他会計等への支出額	799
(4)他団体への公共資産整備補助金等	261
4. その他のコスト	582
(1)支払利息	343
(2)回収不能見込計上額	87
(3)その他の行政コスト	152
<b>経常収益(b)</b>	<b>5,957</b>
1. 使用料・手数料	248
2. 分担金・負担金・寄附金	2,656
3. 保険料	2,208
4. 事業収益	782
5. その他特定行政サービス収入	63
<b>純経常行政コスト(a)-(b)</b>	<b>12,562</b>

【貸借対照表】  
岩倉市が行政サービスを提供するために保有している財産(施設や公園、道路等)の現在の価値と、それをどのような財源で賄っているのかを表しています。  
資産総額は、1,056億3,591万円、固定負債及び流動負債をあわせた負債総額は249億9,835万円、純資産が806億3,756万円で、資産に対する負債の割合は23.7%となっています。  
・市民1人あたりの資産と負債  $H26.3.31$ 現在人口 47,474人  
資産 = 2,225千円 負債 = 527千円 (外国人含む)  
・施設や公園、道路などに今までの世代が負担している割合 [純資産/公共資産] 80.6%

【行政コスト計算書】  
1年間の行政活動のうち、資産形成に結びつかない行政サービスにかかった費用と、その対価として得た収益を表しています。  
・市民1人あたりの純経常行政コスト(経常行政コストから経常収益を差し引いたもの) 265千円  
・経常行政コストに対する受益者負担の割合 [経常収益/経常行政コスト] 32.2%

○純資産変動計算書

(平成25年 4月1日～平成26年 3月31日)

(単位: 百万円)

<b>期首純資産残高</b>	<b>74,094</b>	
<b>当期変動額</b>	<b>6,544</b>	
純経常行政コスト	△ 12,562	⇒ 行政コスト計算書の「純経常行政コスト」と一致
一般財源		
地方税	6,277	
地方交付税	1,559	
その他行政コスト充当財源	1,323	
補助金等受入	4,982	
臨時損益	△ 6	
資産評価替え	0	
その他	4,971	⇒ 貸借対照表の「純資産」と一致
<b>期末純資産残高</b>	<b>80,638</b>	

【純資産変動計算書】  
貸借対照表の純資産に計上されている数値が1年間でどのように変動したかを表しています。  
純資産は、岩倉市が持っている資産の現在の価値の内、今までの世代が負担している部分です。主に純経常行政コストや地方税等一般財源の増減により変動します。

○平成25年度の連結対象範囲 (会計名)

普通	特別	企業
一般、土地、給食、国保、下水、介護、後期高齢		水道

○資金収支計算書

(平成25年 4月1日～平成26年 3月31日)

(単位: 百万円)

<b>期首資金残高</b>	<b>1,350</b>
<b>当期収支</b>	<b>134</b>
1. 経常的収支の部	
支出合計	17,590
収入合計	20,859
経常的収支	3,269
2. 公共資産整備収支の部	
支出合計	1,815
収入合計	956
公共資産整備収支	△ 859
3. 投資・財務的収支の部	
支出合計	2,448
収入合計	172
投資・財務的収支	△ 2,276
<b>期末資金残高</b>	<b>1,484</b>

⇒ 貸借対照表の「資金」から財政調整基金及び減債基金を除いた金額(歳計現金)と一致

【資金収支計算書】  
1年間の資金(歳計現金)の出入りの情報を性質の異なる3つの区分に分けて表したものです。  
経常的収支の部…人件費や物件費などの支出と税収や手数料の収入が計上されています。  
公共資産整備収支の部…公共資産の整備による支出とその財源となった補助金や借金による収入が計上されています。  
投資・財務的収支の部…貸付や基金の積み立て、借金の返済による支出と貸付金の回収などの収入が計上されています。